

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	2-1-3	事業名	地域の縁結び事業
担当	市民まちづくり局地域振興部市民自治推進室市民自治推進課 小澤 211-2253		
全体計画			
事業内容	<p>「自分たちの地域のことは地域で考え、決め、そして行動する」という市民自治による、市民が主役のまちづくりを進めるとともに、地域における市民同士の支え合いを構築するには、担い手の育成・発掘とその担い手をボランティアなどを求める団体、個人に適切につなぐ仕組みづくりが必要である。</p> <p>このことから、きっかけとなる参加促進行事や実践的活動紹介から体験、仲間づくりまでを総合的に実施する研修等を実施することにより、人材の発掘・育成を行うとともに、行事などの情報や団体の情報、優れた活動事例などのまちづくり情報を総合的に発信し、活動の担い手と担い手を求める団体や個人との調整・結びつけを行うなど、地域のまちづくり活動(1)の更なる活発化を図るための総合的な仕組みを構築する。</p> <p>1 地域一斉清掃や植栽などの環境美化活動や子どもやお年寄りの見守り活動など、地域(まち)が抱えている課題に対応して、さまざまな活動の実践により解決を図り、暮らしやすいまちを創っていく活動。</p> <p>2 さまざまな市民まちづくり活動(3)団体が集まって、日ごろの活動成果などを皆さんにお伝えする行事。</p>		<p style="text-align: center;"><年度別の事業内容></p> <p>19年度 ・全区でまちづくり参加・入門教室開講 ・まちづくり活動事例調査実施</p> <p>20年度 ・全区でまちづくり参加・入門教室開講 ・まちづくりフェスタ(2)を活用した参加のきっかけづくり行事の実施 ・総合的なまちづくり情報発信ホームページ開設 ・ボランティアをしたい人と求める人を調整し繋ぐ仕組みの検討</p> <p>21~22年度 ・全区でまちづくり参加・入門教室開講 ・まちづくりフェスタを活用した参加のきっかけづくり行事の実施 ・総合的なまちづくり情報発信ホームページ運営 ・ボランティアをしたい人と求める人を調整し繋ぐ仕組みの検討</p> <p>3 町内会活動など、市民の皆さんが営利を目的としないで市内において自発的に行う公益的な活動。</p>
	事業内容	<p style="text-align: center;">平成19年度事業内容(決算)</p> <p>まちづくり参加・入門教室開講 これまでまちづくり活動への参加が少ない団塊の世代などを対象に、参加への不安解消、まちづくりに関する基本的知識の習得、実践的活動体験、仲間づくりなどを総合的に行う講座を、元気なまちづくり支援事業(4)の予算を活用し、各区の創意工夫により全区で実施した。</p> <p>まちづくり活動事例調査 他の地域や団体へ波及させることや市民に活動の必要性や楽しさを伝えることを目的として、市内で行われている先進的・特徴的なまちづくり活動事例の調査を実施</p> <p>ボランティアをしたい人と求める人を調整し繋ぐ仕組みの検討 類似事業を実際に行っている民間団体等からの聴き取り調査などにより、ボランティア活動などに参加する道筋、地域の実態や需要の把握手法、調整方法、担い手に求められる要素等の分析を行い、仕組みづくりに向けた検討を実施。</p> <p>4 区の創意や裁量によって、区の課題を解決するための活動を行う事業。全市で4億2千万円の予算を計上しており、その用途は原則的に各区長の判断に委ねている。</p> <p>5 市民まちづくり活動団体を支援することを目的として、市が北区北8条西3丁目のエルプラザ2階に設置している施設。打ち合わせコーナーや有料で貸出す事務ブース、印刷機などがある。</p>	<p style="text-align: center;">平成20年度事業内容(決算)</p> <p>まちづくり参加・入門教室開講 19年度より参加者に広がりを持たせられるよう、各講座の定員拡大や実施回数の増などの内容を強化し、受講後の仲間づくりや交流の促進支援、情報提供等を通じ、実践活動への継続的な参加を促すため、地域活動団体との情報交換会などを行った。</p> <p>まちづくりフェスタを活用した参加のきっかけづくり行事の実施 まちづくりフェスタの場を活用し、まちづくり参加・入門教室の紹介を行うため、リーフレット配布・パネル展の開催を行った。</p> <p>総合的なまちづくり情報発信ホームページ開設 市民活動サポートセンター(5)ホームページを作り変えて、行事などの情報や団体情報、優れた活動事例などのまちづくり情報を総合的に発信するホームページを21年2月に開設した。</p> <p>「地域の交流の場」の体験事業の実施 誰もが気軽に参加でき、地域の交流・連携を強化できる「地域の交流の場」を普及させるため、市内18カ所の地区センターなどで体験事業を実施し、延べ172名の市民が参加した。</p> <p>ボランティアをしたい人と求める人を調整し繋ぐ仕組みの検討 類似事業を実際に行っている民間団体等からの聴き取り調査等を行い、現在のボランティア情報の整理、地域のボランティアを活性化するための仕組みづくりについて検討を行った。</p>
事業場	<p style="text-align: center;">平成21年度事業内容(予算)</p> <p>まちづくり参加・入門教室開講 19年度以降、各区単位で行っていたまちづくり参加・入門教室に加え、より身近な地域の課題やまちづくり活動を知っていただく機会を提供するため、まちづくりセンターや連合町内会などと連携し、地域を単位とした参加・入門教室を実施する。また、より多くの市民に「まちづくり参加・入門教室」を知っていただくため、札幌市全域の団塊の世代を対象としたきっかけイベントを開催する。</p> <p>まちづくり総合情報ポータルサイトの情報充実化 平成21年2月に開設した総合情報ポータルサイトに、地域ボランティアの人材情報コンテンツ追加などを行い、ホームページの充実化を図る。</p> <p>「地域の交流の場」の普及・推進 「地域の交流の場」を普及させるため、体験事業の追加実施や交流の場を開催したい方々へのアドバイザー派遣など支援を行う。</p> <p>地域のボランティア活性化に向けたモデル事業の実施 既に地域のボランティア活動を行っている地域の団体(連町、福まちなど)に対し、さらにボランティアを活性化させる活動に対し支援を行い、今後の地域のボランティアの仕組みについて実証実験を行う。</p>		<p style="text-align: center;">平成22年度事業内容(予算)</p>
規模			
件数			
等			

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	2-1-3		事業名	地域の縁結び事業			
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
まちづくり参加入門教室の開催数	-	10回 (1区1回)	10回 (1区1回)	20回 (1区2回)	20回 (1区2回)	20回(1区2回) (21年度)	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 参加・入門教室における活動体験などは、各区の創意や容量により、既存事業(交通安全、植樹など)への参加など様々な手法により行われており、地域でまちづくり活動を行っている市民の協力のもとに実施されている。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] まちづくり参加・入門教室の実施にあたっては、町内会など地域で実際にまちづくりを行っている様々な団体にご協力いただいている。また、ファッションや音楽など民間のアイデアが生かされている例もある。 [情報協力] まちづくり活動事例の調査については、取材への対応など、町内会等の地域の様々な団体にご協力をいただいている。 [その他の協力]</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり まちづくり参加・入門教室については、お仕事をされている市民の方々にも参加していただきやすいように、夜間や土日に開催するなどの配慮をしている。</p>							
評価(成果)			課題				
<p>まちづくり参加・入門教室 10区合計で約800名(公開講座含む)が参加し、受講者の中から、実際に活動に継続的に参加されるようになった方や役員等に就任する方が出てくるなど、新たな担い手の参加促進につながっている。 まちづくり総合情報ポータルサイト 総合情報ポータルサイト開設に伴い、3月よりまちづくり団体(6)が直接発信できるコンテンツを作成し、まちづくり活動団体のイベント、講座の参加者募集などの情報発信を強化できた。 ボランティアをしたい人と求める人を調整し繋ぐ仕組み 実際に類似事業を実施している民間団体等の聞き取り調査などにより、ボランティア活動などに参加する道筋、地域の実態や需要の把握手法、調整方法、担い手に求められる要素等の分析を行うことができ、21年度にモデル実験を行うボランティアをしたい人と求める人を調整し、繋ぐための仕組みの土台を整えることができた。 地域の交流の場の普及 より多くの市民に地域の交流の場を知っていただくため、市内18カ所の地区センター、地区会館などで体験事業を実施し、延べ172名の市民の方に地域の交流の場を体験していただいた。また、地域の交流の場ガイドブックを作成し、区役所、まちセン、町内会などに配布し、普及促進を図った。 (6 札幌市市民活動サポートセンター登録団体)</p>			<p>本市では少子高齢化が急速に進展している一方、厳しい財政状況のもと、行政で対応できる分野にも限界があり、今後の地域福祉の推進には地域内での支えあいが欠かせない。しかし、市民の自主的、自発的活動だけでは、市民同士で支えあうための安定・持続的な仕組みを構築することは困難であり、行政として地域の活動を支援する仕組みの構築が急がれている。 19年度市政世論調査によると、まちづくりに参加したいという意向を持った市民は74.5%もの高い割合になっている一方、実際にまちづくり活動に参加したことがある割合は4割程度となっている。これら参加への意向を持ちながら、実際には参加していない市民に実際の活動の担い手となっていただくためには、活動への参加に必要なさまざまな情報をわかりやすく総合的に発信するとともに、それら情報を活用し、担い手を求める団体や個人と適切に結びつける仕組みの構築が必要である。 また、地域における支えあいの仕組み構築には、活動に参加したい人と担い手を求めている団体、個人の需要を的確に結びつける調整役の育成が最も重要である。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>地域のまちづくり活動の更なる活発化を図るための総合的な仕組み構築に向け、次の取組みを継続して行う。 新たな活動の担い手の発掘・育成の強化を図るため、参加のきっかけとなる参加促進行事や実践的活動紹介から体験、仲間づくりまでを総合的に実施する研修である「まちづくり参加・入門教室」を継続するとともに、各講座の定員拡大や実施回数増など、参加に広がりを持たせる取り組みを行う。 また、地域団体(連町など)やまちセンと連携し、身近な地域課題を取り扱ったまちづくり参加・入門教室の開催などを検討する。 地域の交流の場が普及するため、多くの市民へのPRを行うと同時に、実際に行う地域の交流の場をやってみたい市民の方へ運営のアドバイザー派遣や既存にある「地域の交流の場」の情報提供などの積極的な支援を行う。 市民どうしの支えあいによるふれあいあふれる地域をつくり行うため、行事などの情報や団体の情報、優れた活動事例などのまちづくり情報を総合的に発信するとともに、そのような情報を有効に活用できるようにするため、実際にボランティアをしたい人とボランティアを求める団体や個人との調整・結びつけを行う仕組み(コーディネーター)への支援を行い、今後の展開に向けてモデル検証を行う。</p>							

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		2-1-3		事業名	地域の縁結び事業		
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	13,000	10,000	10,000	10,000	43,000	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0	0	0	
	市の債	0	0	0	0	0	
	その他の他	0	0	0	0	0	
一般財源	13,000	10,000	10,000	10,000	43,000		
予算	事業費	16,237	20,345	21,430	-	58,012	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0		0	
	市の債	0	0	0		0	
	その他の他	0	0	0		0	
一般財源	16,237	20,345	21,430		58,012		
実績	事業費	12,746	17,857	-	-	30,603	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0			0	
	市の債	0	0			0	
	その他の他	0	0			0	
一般財源	12,746	17,857			30,603		
事業費の進捗率		(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)				121.0%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
(全体)							
[19年度]							
[20年度] 当初の計画に比べ、参加入門教室の実施形態の拡大(実施回数や経験者向けの講座開催など)を図った。							
[21年度] 地域の支えあいを活性化するための仕組みづくりが、検討段階からモデル事業実施に至り予算に追加された。(新規1,500千円) まちづくり参加・入門教室の参加者拡大のため、開催回数の増加を図ったため、事業予算増となっている。							